

## 第2章 調査結果の分析

### 1 水道水の節水意識や利用状況

#### 水道水の節水意識や利用状況についてお聞きします

(すべての事業所にお聞きします。)

問1 日ごろ、あなたの事業所では水道水をどのように使っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 節水のことは考えずに使っている
- 2 節水は必要と思いつながら、実行はしていない
- 3 ある程度節水をしながら使っている
- 4 まめに節水して使っている

([問1-1] ~ [問1-2] は、問1で「3 ある程度節水しながら使っている」または「4 まめに節水して使っている」と回答された事業所にお聞きします。)

[問1-1] 次のうち現在取り組んでいる節水対策はありますか。(〇はいくつでも)

- 1 節水型設備の導入(業務用の機械など)
- 2 節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)
- 3 水の循環利用
- 4 地下水・雨水の利用
- 5 使用量の管理
- 6 従業員への啓発
- 7 その他( )

[問1-2] 節水するための水道使用量の目標値はありますか。(〇は1つだけ)

- 1 前年度に比べて5%程度の節水
- 2 前年度に比べて10%程度の節水
- 3 前年度に比べて15%程度の節水
- 4 前年度に比べて20%を超える節水
- 5 その他( )
- 6 目標値はない

(問1-2で「1」から「5」の選択肢で回答された事業所にお聞きします。)

[問1-3] 節水をしたことにより、節水目標はどのくらい達成できましたか。(〇は1つだけ)

- |               |
|---------------|
| 1 ほぼ達成できた     |
| 2 半分くらい達成できた  |
| 3 あまり達成できなかった |
| 4 わからない       |

(すべての事業所にお聞きします。)

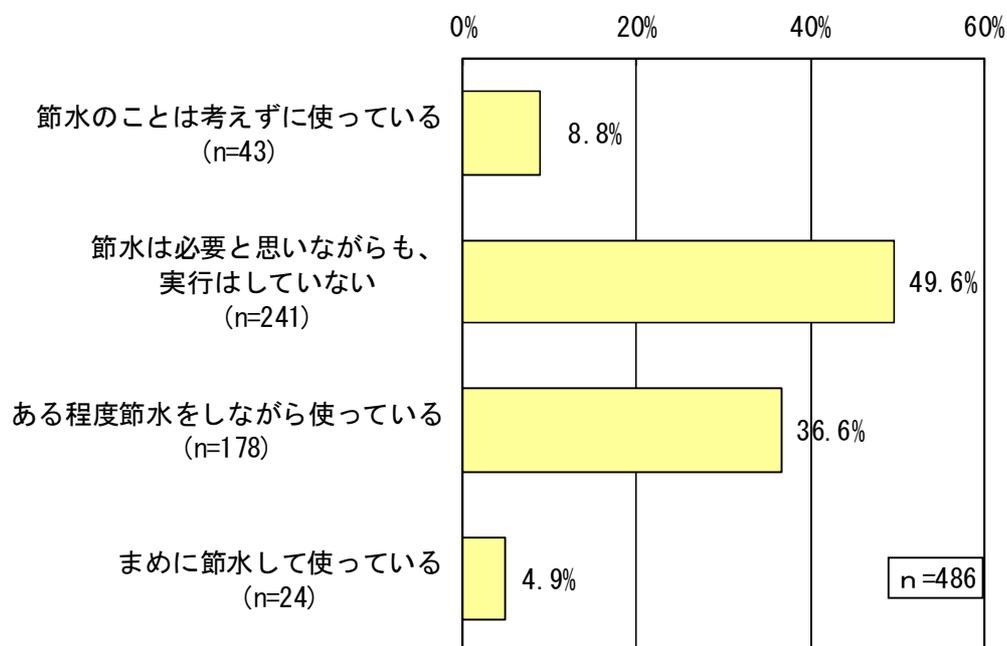
問2 次のうち、今後取り組みたいと思っている節水対策はありますか。(〇はいくつでも)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 節水型設備の導入(業務用の機械など)          |
| 2 節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの) |
| 3 水の循環利用                      |
| 4 地下水・雨水の利用                   |
| 5 使用量の管理                      |
| 6 従業員への啓発                     |
| 7 その他( )                      |
| 8 ない                          |

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水及びそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(〇はいくつでも)

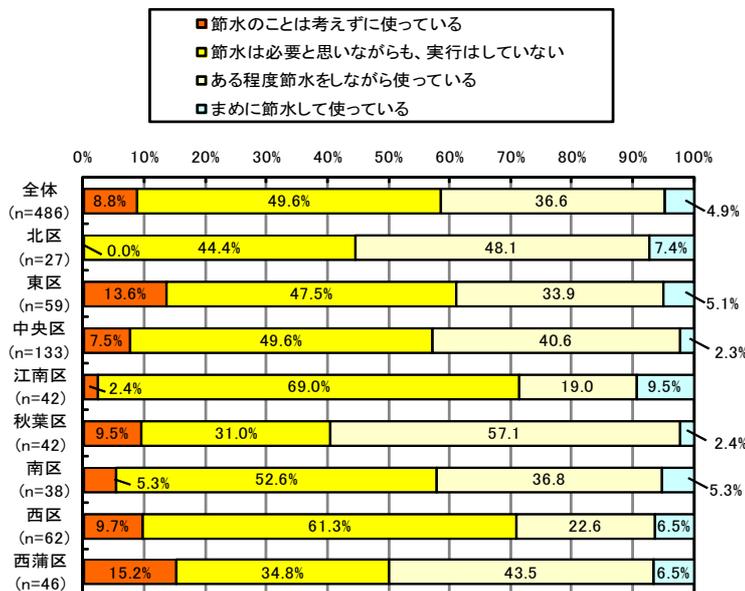
用途 利用している 水の種類	A. 飲用	B. 飲用以外 の生活用水 (トイレ等)	C. 商品の製 造・加工、サ ービスの提 供などの業 務用	D. 空調等の 設備用	E. その他 ( )
1 水道水					
2 雨水					
3 地下水(井戸水)					
4 工業用水					
5 その他 ( ) ※循環利用等					

## 問1 水道水の利用について



普段の水の使い方については、「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」（49.6%）が最も高く、次いで「ある程度節水をしながら使っている」（36.6%）、「節水のことは考えずに使っている」（8.8%）の順となっている。「まめに節水をして使っている」は4.9%であった。

全体をみると、「まめに節水している」と「ある程度節水をしながら使っている」が合わせて41.5%と過半数に達しなかった。



所在区別で見ると、「まめに節水して使っている」と「ある程度節水をしながら使っている」を合わせて高い順にみると、

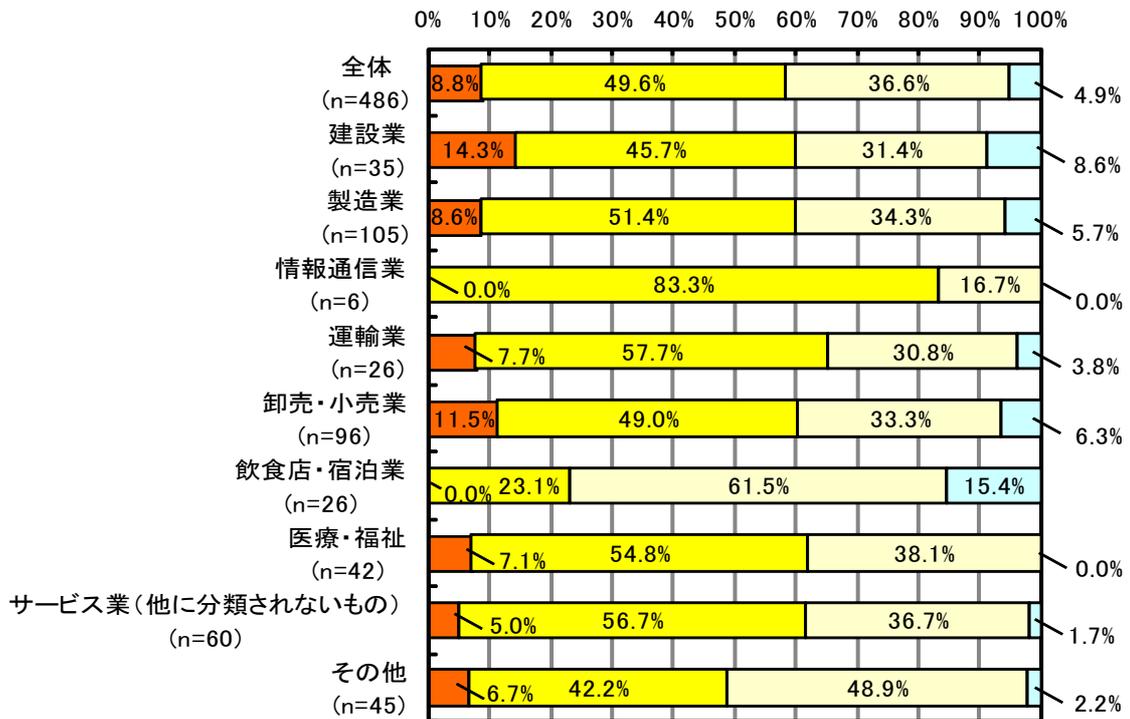
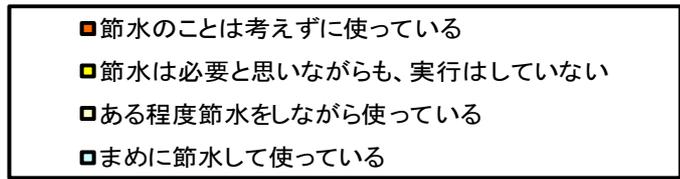
- 1) 秋葉区が59.5%
- 2) 北区が55.5%
- 3) 西蒲区が50%

となっている。合わせて50%を超える区は、「秋葉区」「北区」「西蒲区」の3区しかない。

逆に「節水のことは考えずに使っている」と「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」を合わせて高い順にみると、

- 1) 江南区が71.4%
- 2) 西区が71%
- 3) 東区が61.1%

となっている。



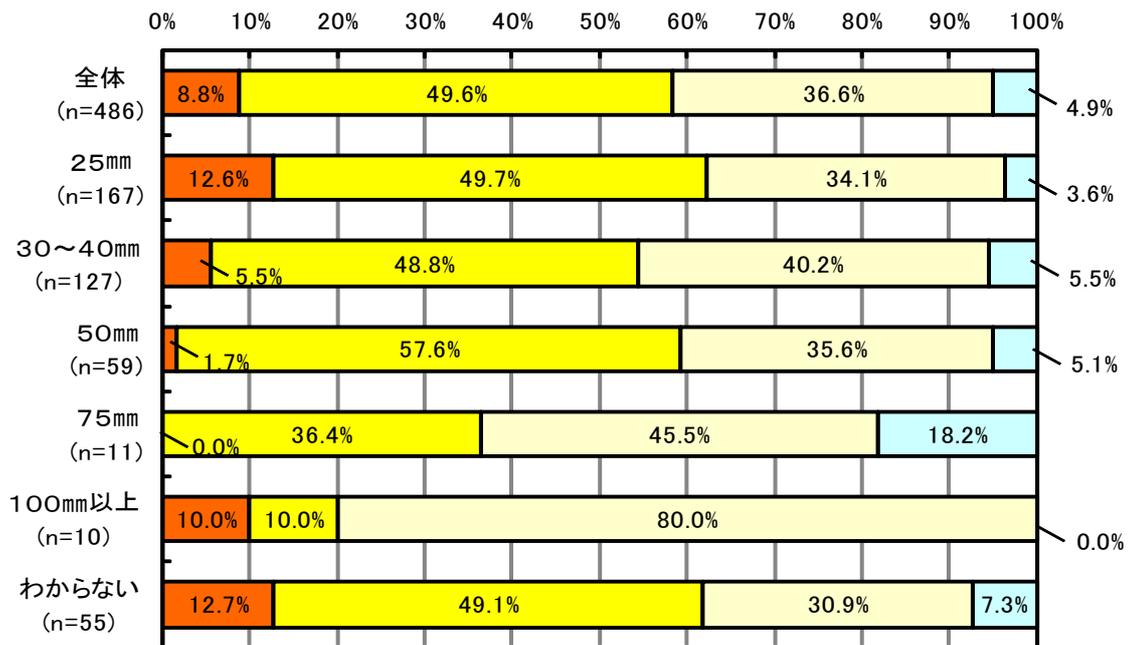
業種別に、「まめに節水して使っている」と「ある程度節水をしながら使っている」を合わせて高い順にみると、

- 1) 飲食店、宿泊業が76.9%
- 2) その他が51.1%
- 3) 建設業と製造業が同率で40%となっている。

逆に「節水のことは考えずに使っている」と「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」を合わせて高い順にみると、

- 1) 運輸業が65.4%
- 2) 医療、福祉が61.9%
- 3) サービス業(他に分類されないもの)が61.7%となっている。

- 節水のことは考えずに使っている
- 節水は必要と思いつながら、実行はしていない
- ある程度節水をしながら使っている
- まめに節水して使っている



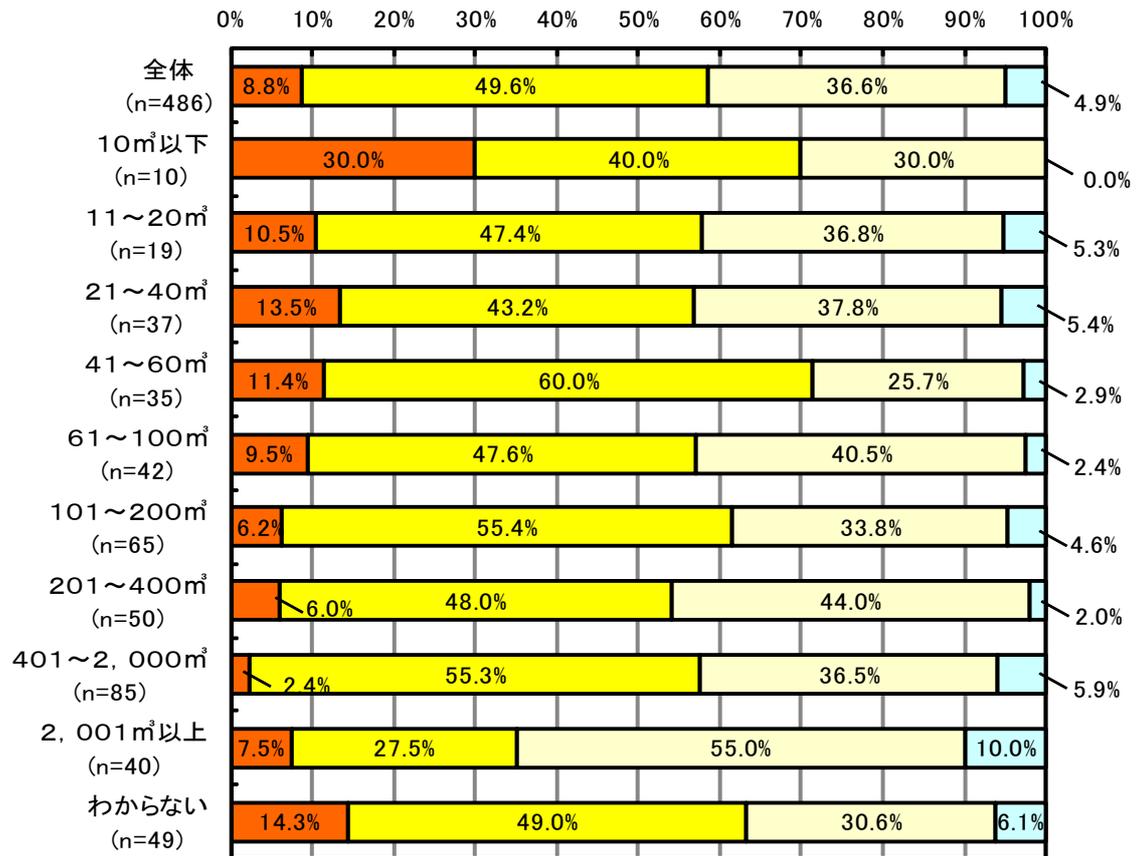
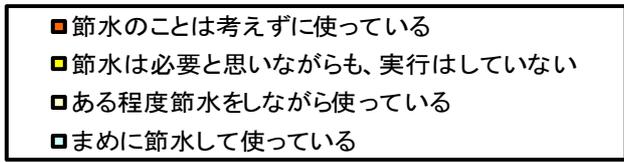
水道メーター口径別に各回答選択肢のピークをみると、

「節水のことは考えずに使っている」・・・水道メーター口径はわからないで12.7%

「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」・・・同50mmで57.6%

「ある程度節水をしながら使っている」・・・同100mm以上で80.0%

「まめに節水して使っている」・・・同75mmで18.2%となっている。



使用水量別に各回答選択肢のピークをみると、

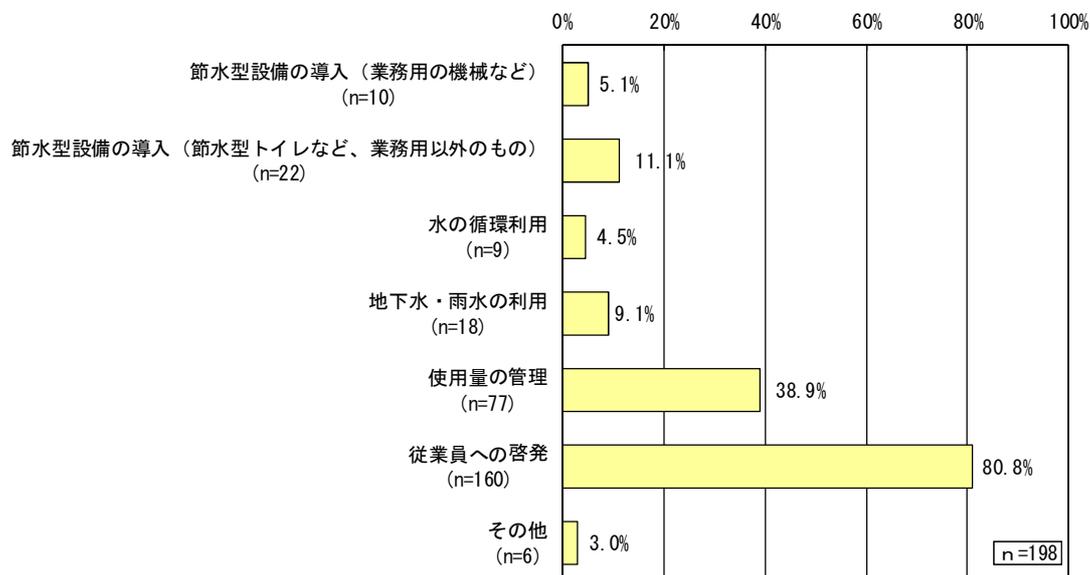
「節水のことは考えずに使っている」・・・使用水量10m<sup>3</sup>以下で30.0%

「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」・・・同41~60m<sup>3</sup>で60.0%

「ある程度節水をしながら使っている」・・・同2,001m<sup>3</sup>以上で55.0%

「まめに節水して使っている」・・・同2,001m<sup>3</sup>以上で10.0%となっている。

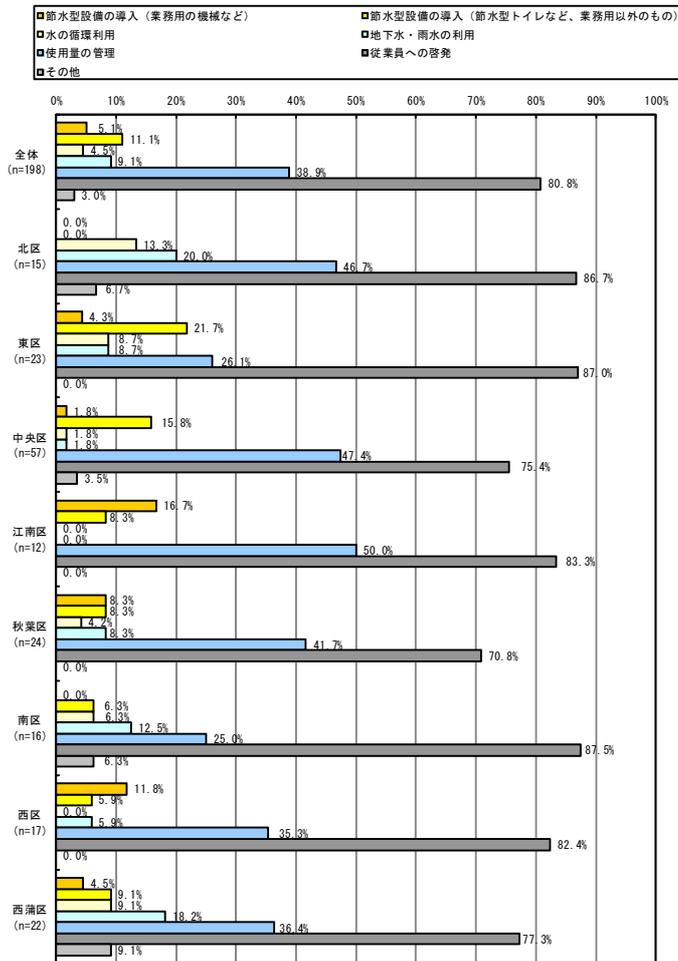
問1-1 取り組んでいる節水対策



従業員への啓発が80.8%と最も高い数値を示している。

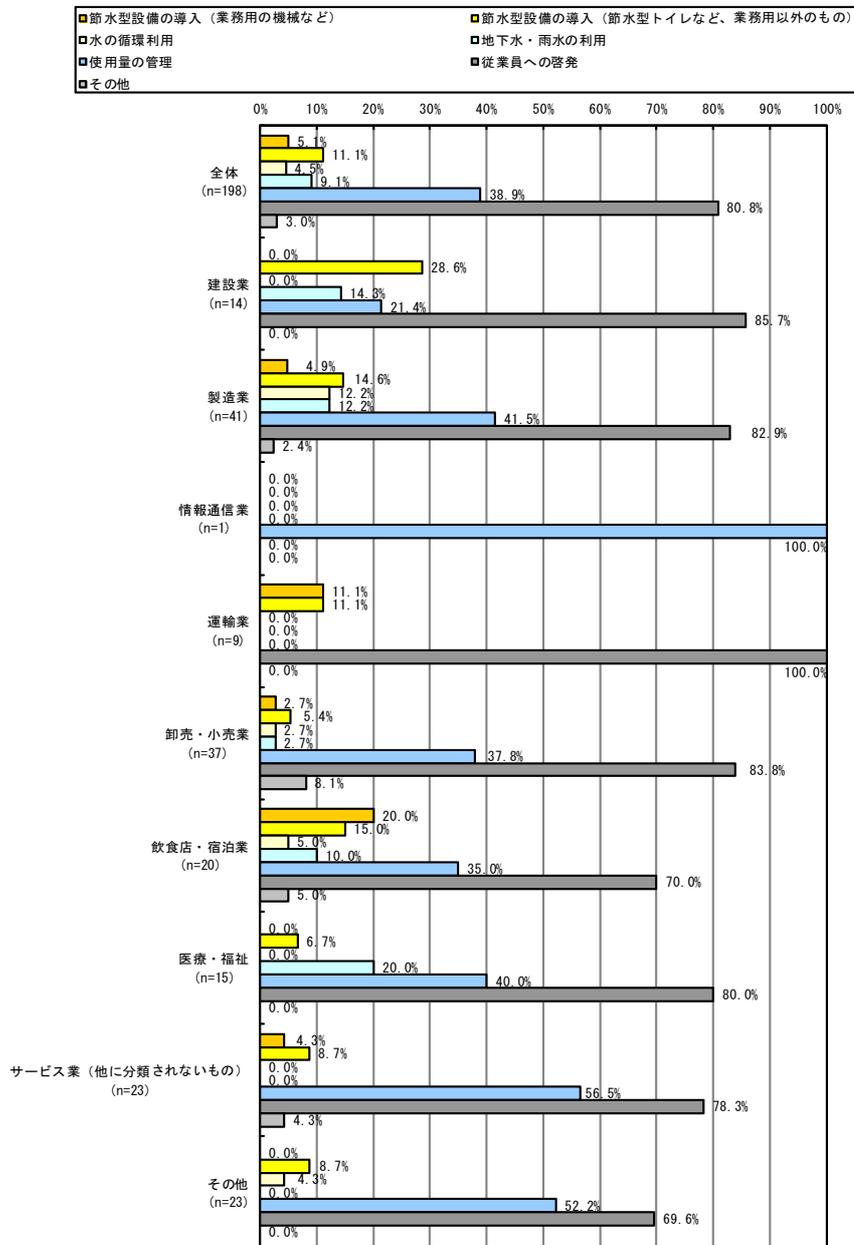
現在取り組んでいる節水対策は、「従業員への啓発」が80.8%と最も高く、「使用量の管理」が38.9%と続いている。「節水型設備の導入(節水型トイレなど業務用以外のもの)」が11.1%、「節水型設備の導入(業務用の機械など)」は5.1%である。

その他の回答
啓発とまでは、いかないが個々の意識付けで
節水コマ取付
トイレの消音機取付
洗米工程を省き、精米浸漬で対応
トイレ使用时音が流れるシステムを利用
蛇口全てに節水機装着



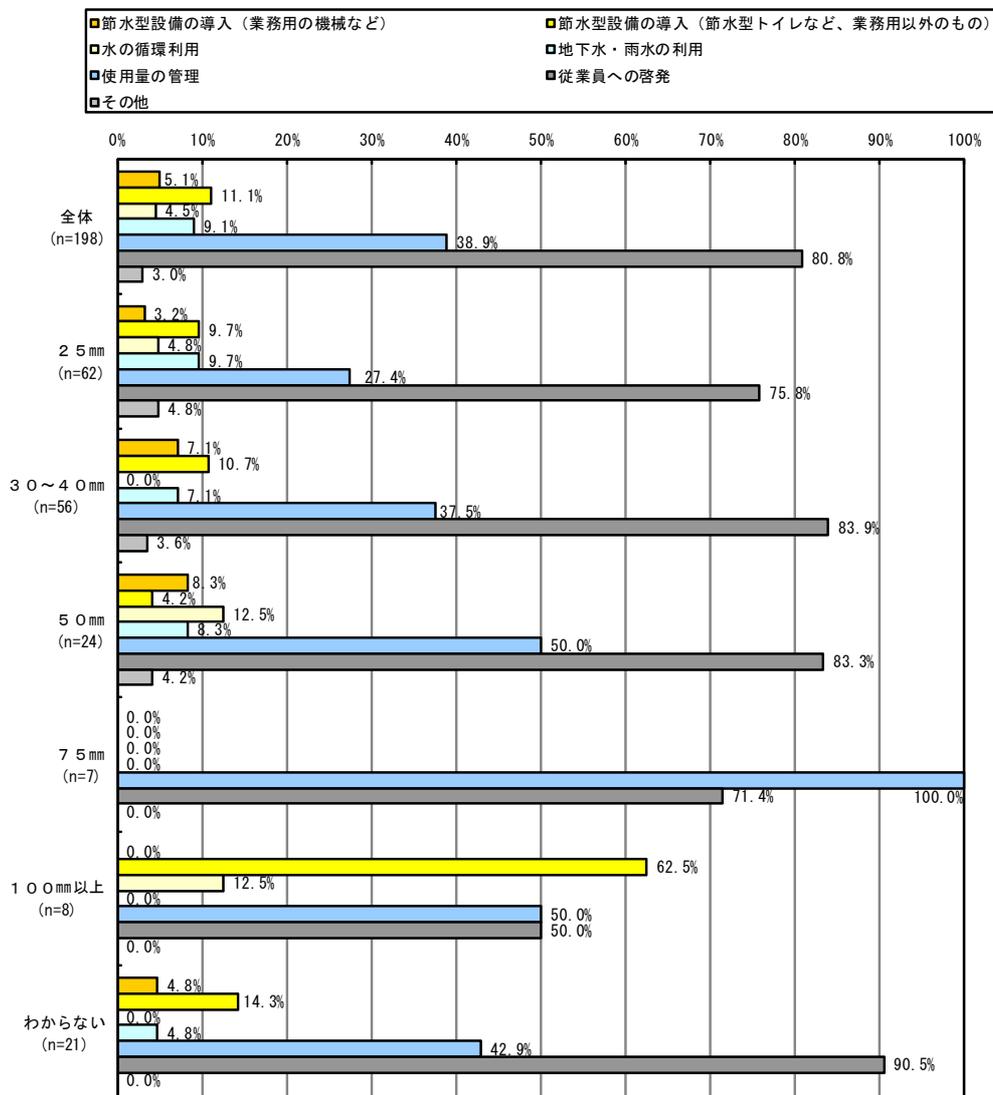
所在区別でみると、すべての区で「従業員への啓発」が70%を超え、群を抜いて最も高く、それに続いて「使用量の管理」が高い傾向は変わらないが、北区では唯一「節水型設備の導入(節水型トイレなど業務用以外のもの)」も「節水型設備の導入(業務用の機械など)」がない代わりに、「地下水・雨水の利用」が20.0%、「水の循環利用」が13.3%と他の各区に比較してかなり高いのが特徴的である。

また、東区では「節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)」が21.7%と多く、江南区では「節水型設備の導入(業務用の機械など)」が16.7%と多いなど、各区によって多様であることが分かった。

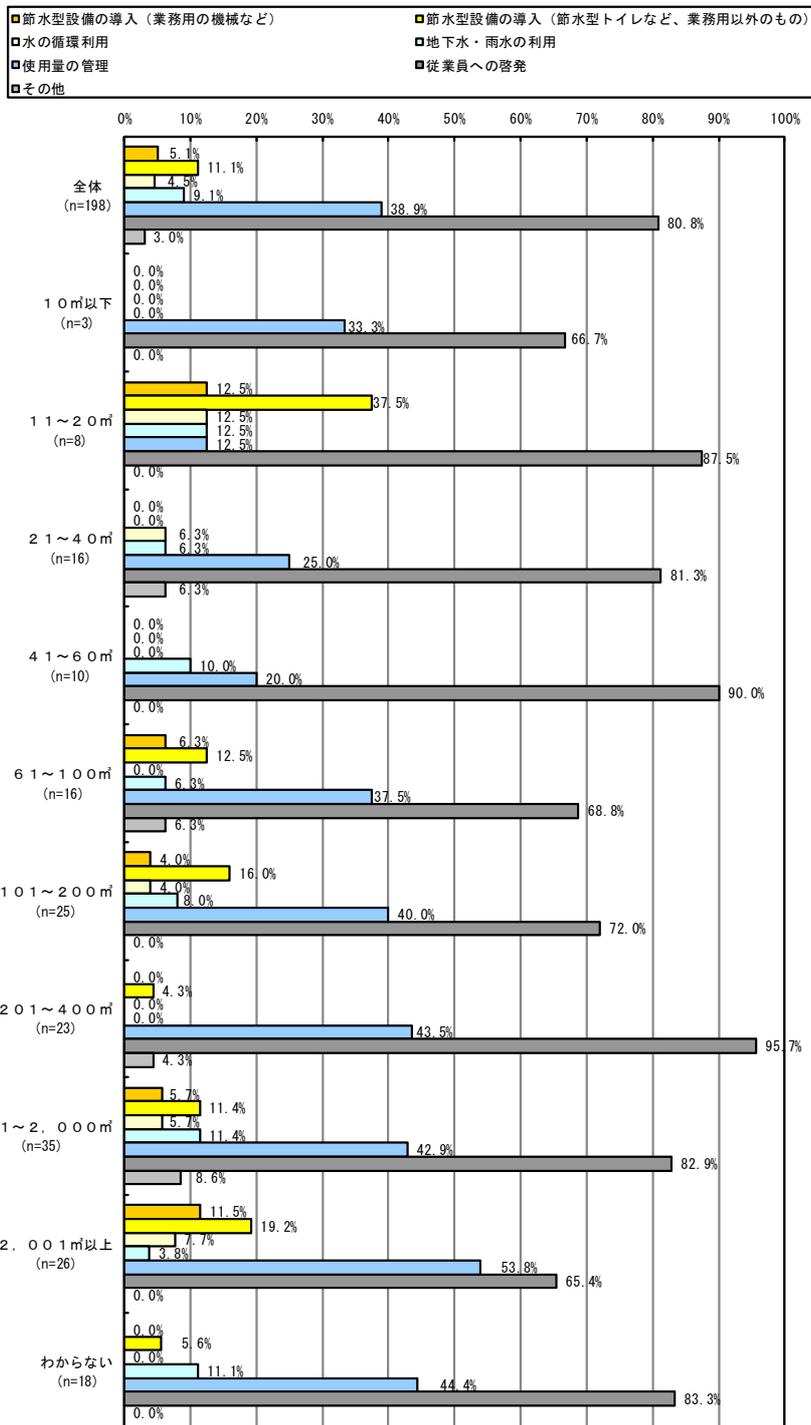


業種別にみると、すべての業種で「従業員の啓発」の回答が第1位だった。建設業では、「節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの）」を回答した事業所の割合が28.6%と他の業種に比べてかなり多く、「使用量の管理」を抜いて第2位だった。

また、製造業では「水の循環利用」が12.2%と高く、飲食店・宿泊業では「節水型設備の導入（業務用の機械など）」が20.0%、「節水型設備の導入（節水型トイレなど業務用以外のもの）」が15.0%と高いなど、各業種によって多様であることが分かった。

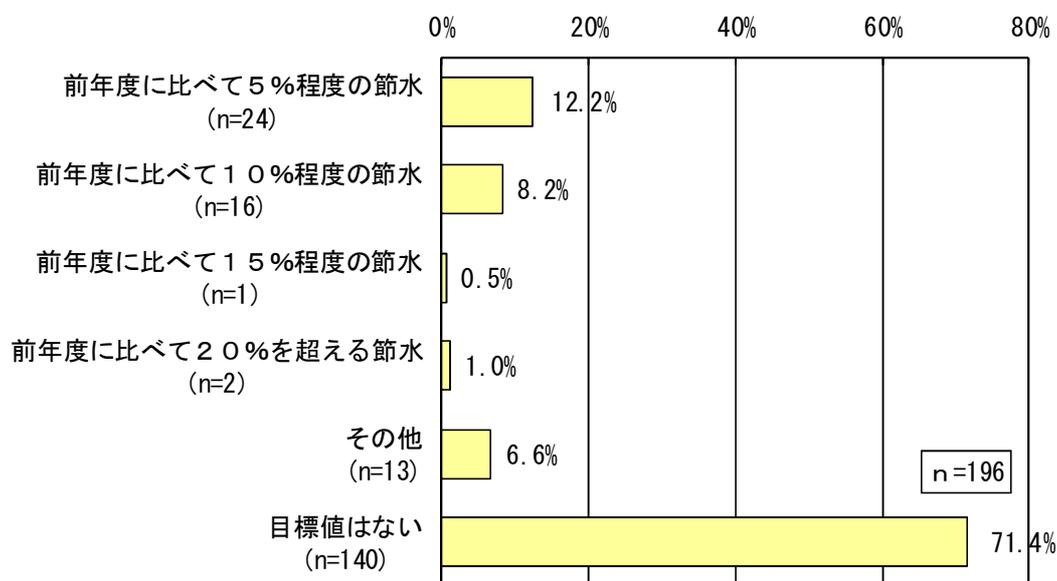


水道メーター口径別でみると、水道のメーター口径が75mmでは、「使用量の管理」が100.0%で「従業員の啓発」71.4%を押さえ1位となり、100mm以上では、「節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの）」が62.5%で「従業員の啓発」や「使用量の管理」を押さえ1位となるなど、水道メーター口径が大きくなるにつれて、対策が多様化することがわかった。



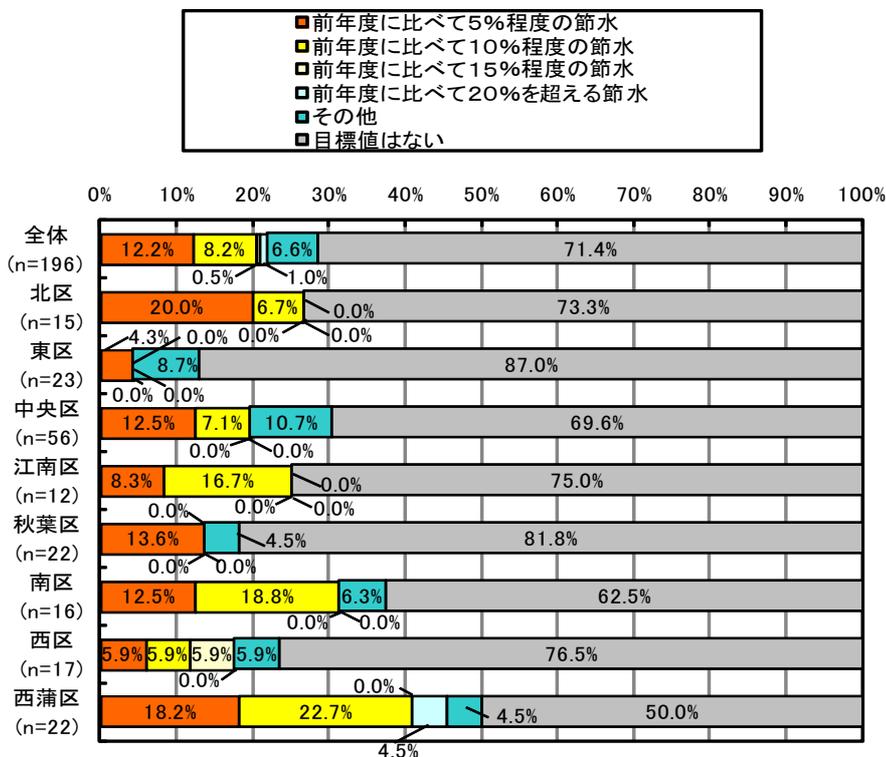
直近の水道使用水量別でみると、11~20m<sup>3</sup>では「節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの）」が37.5%で「使用量の管理」12.5%を押さえ第2位だったが、他の使用水量では、使用した水道水の量が多くなるほど、「使用量の管理」に力を入れて取り組んでいることが分かった。

問1-2 水道使用量の目標値



節水の目標値については、「目標値はない」71.4%が最も高く、過半数を占めている。次いで「前年度に比べて5%程度の節水」12.2%、「前年度に比べて10%程度の節水」8.2%、「その他」6.6%となっている。「前年度に比べて15%程度の節水」と「前年度に比べて20%を超える節水」はほとんどなかった。

その他の回答	
お客様1人当たり20ℓ以内	前年度に比べて1%節水
売上に対し使用量も変化するが節水5%位	約2%
前年比3%程度	3年位前から実施しているので昨年と同じ位
各月毎に使用料のデーターを記入管理	
日頃、ムダのない使用をしているか確認している。	前年度に比べて1%節水
前年度に比べて1%節水	前年・前月対比
3%を目標としている。	継続的に節水を心掛け、現状を維持
前年度より少しでもすくなく	前年度より増えないように
22年度ベースにしての節水の取組、1年ごとに1%とつつプラスする。例) 24年1%－25年2%－26年30%－	

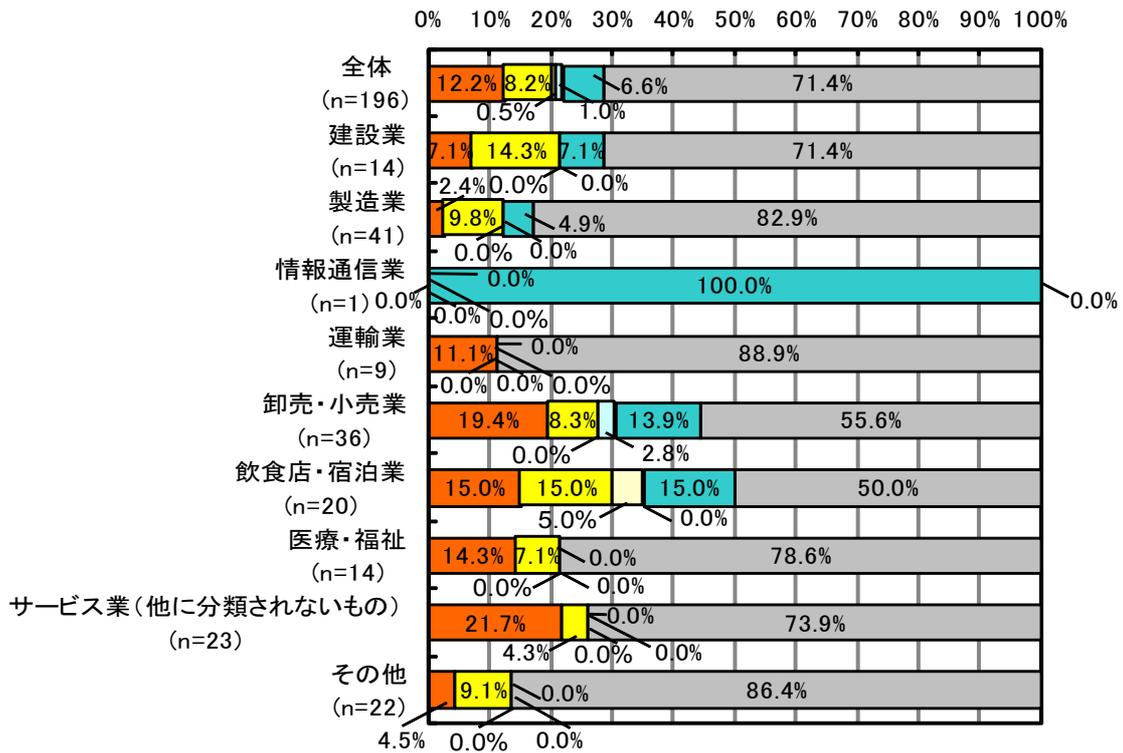
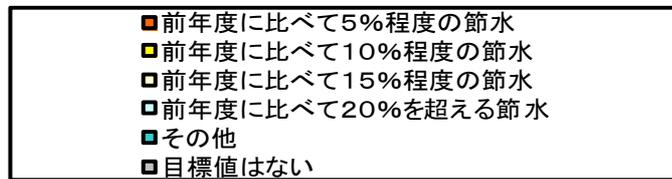


所在区別でみると、全ての区で「目標値はない」が最も高く、過半数を占めている。「目標値はない」を除く他の5項目を合わせて何らかの目標値を持つ順にみると、

- 1) 西蒲区が50.0%
  - 2) 南区が37.6%
  - 3) 中央区が30.3%
- となっている。

逆に「目標値はない」順にみると、

- 1) 東区が87.0%
  - 2) 秋葉区が81.8%
  - 3) 西区が76.5%
- となっている。

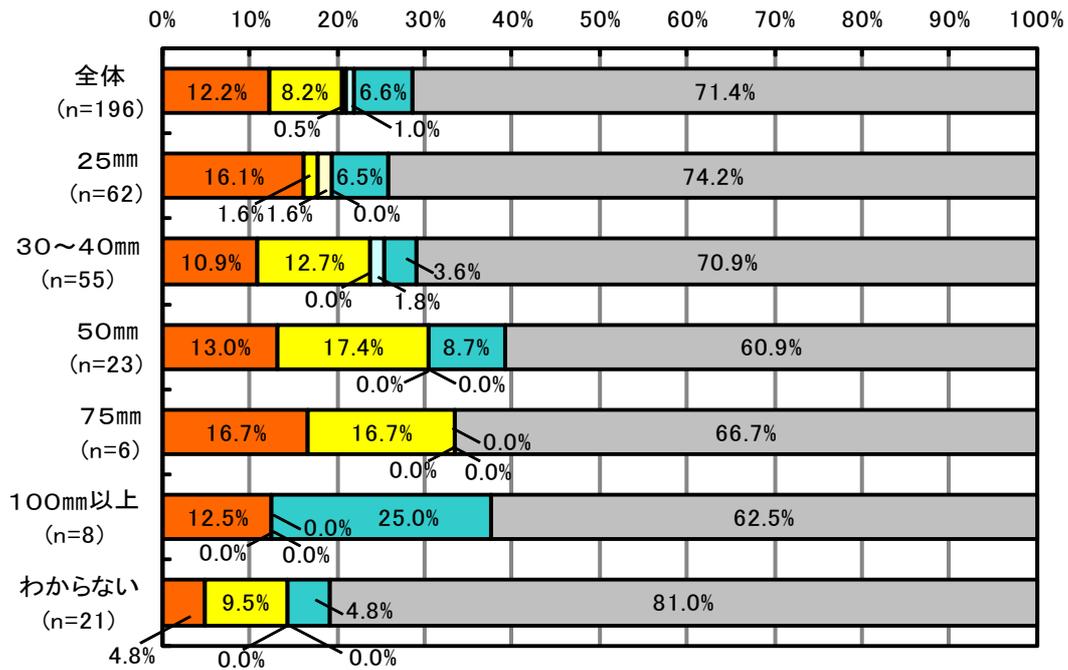
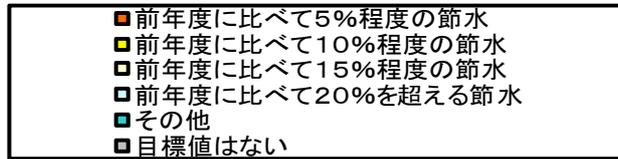


業種別でみると、全ての業種で「目標値はない」が最も高く、過半数を占めている。「目標値はない」を除く他の5項目を合わせて何らかの目標値を持つ順にみると、

- 1) 飲食店、宿泊業が50.0%
  - 2) 卸売・小売業が44.4%
  - 3) 建設業が28.5%
- となっている。

逆に「目標値はない」順にみると、

- 1) 運輸業が88.9%
  - 2) その他が86.4%
  - 3) 製造業が82.9%
- となっている。



水道メーター口径別に見て、各回答選択肢のピークをみると、

「前年度に比べて5%程度の節水」・・・水道メーター口径75mmで16.7%

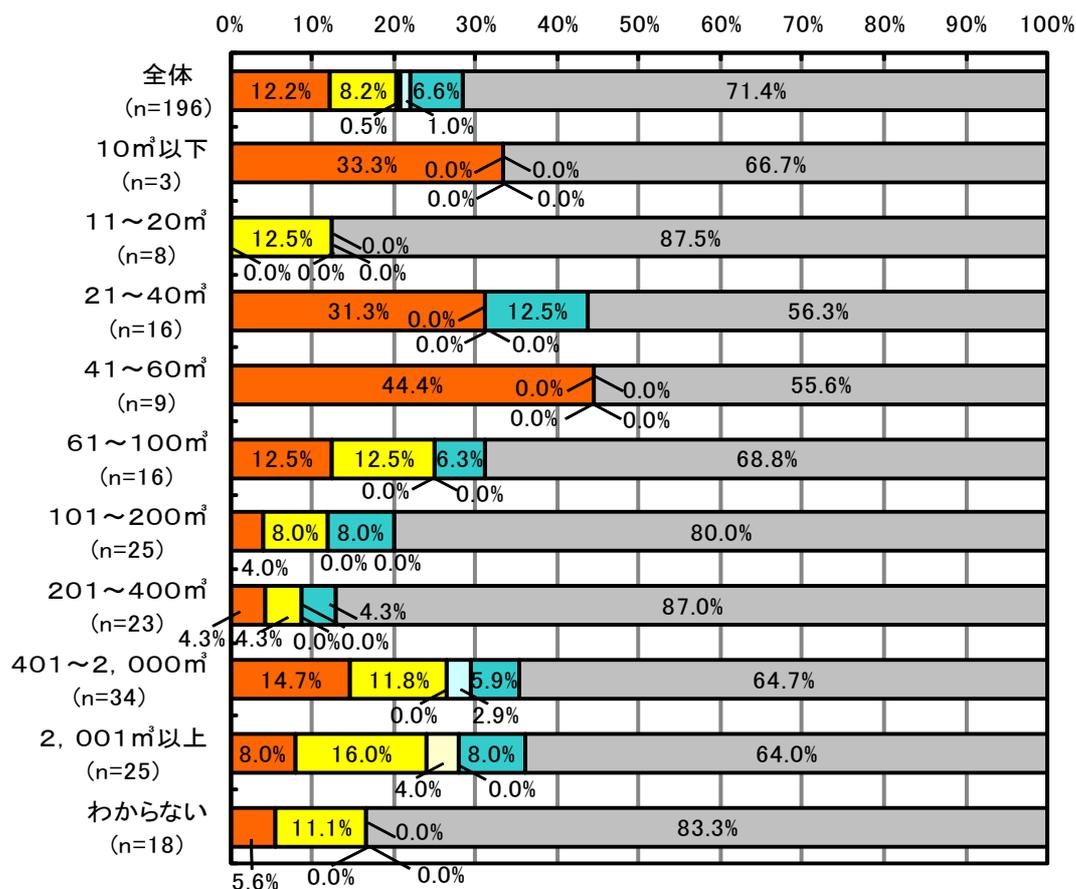
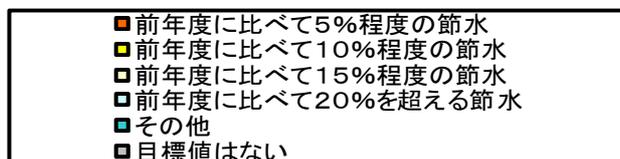
「前年度に比べて10%程度の節水」・・・同50mmで17.4%

「前年度に比べて15%程度の節水」・・・同25mmで1.6%

「前年度に比べて20%を超える節水」・・・同30~40mmで1.8%

「その他」・・・同100mm以上で25.0%

「目標値はない」・・・同わからないで81.0%



使用水量別に各回答選択肢のピークをみると、

「前年度に比べて5%程度の節水」・・・使用水量41~60m<sup>3</sup>で44.4%

「前年度に比べて10%程度の節水」・・・同2,001m<sup>3</sup>以上で16.0%

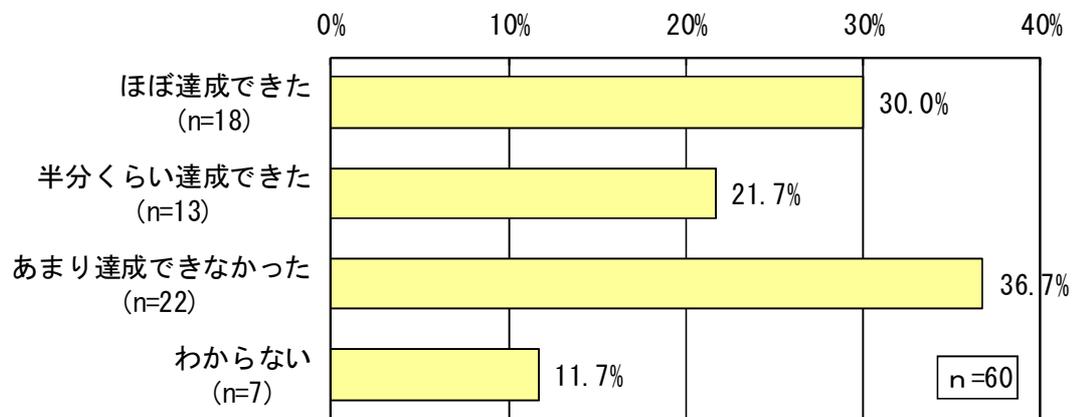
「前年度に比べて15%程度の節水」・・・同2,001m<sup>3</sup>以上で4.0%

「前年度に比べて20%を超える節水」・・・同401~2,000m<sup>3</sup>で2.9%

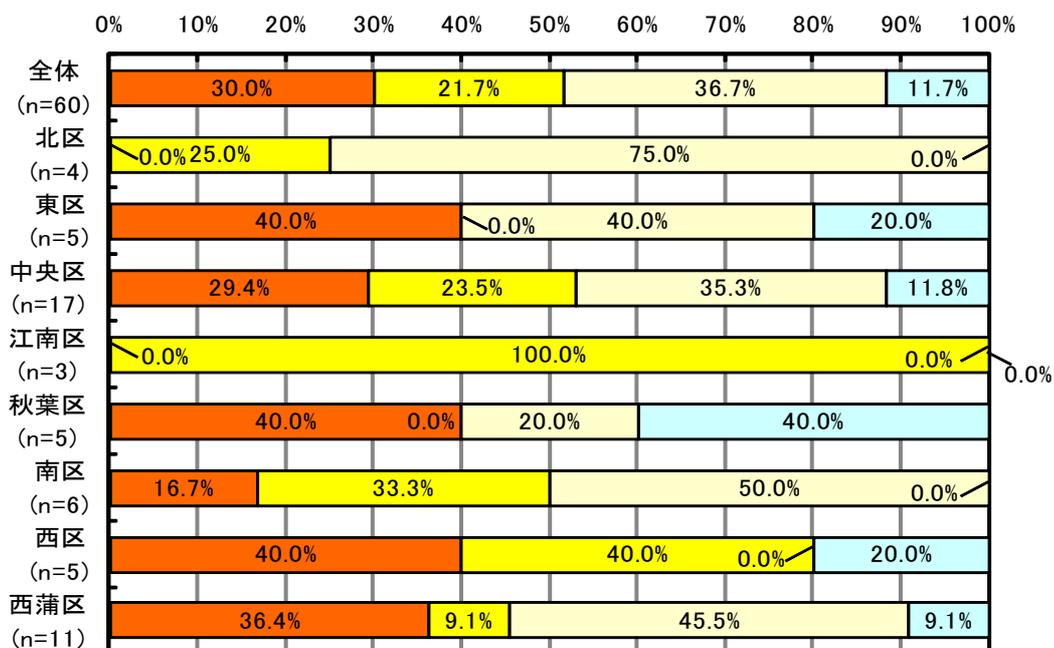
「その他」・・・同21~40m<sup>3</sup>で12.5%

「目標値はない」・・・同11~20m<sup>3</sup>で87.5%

問1-3 節水目標の達成



「あまり達成できなかった」が36.7%と最も高い。また、「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」事業所の合計が51.7%だった。

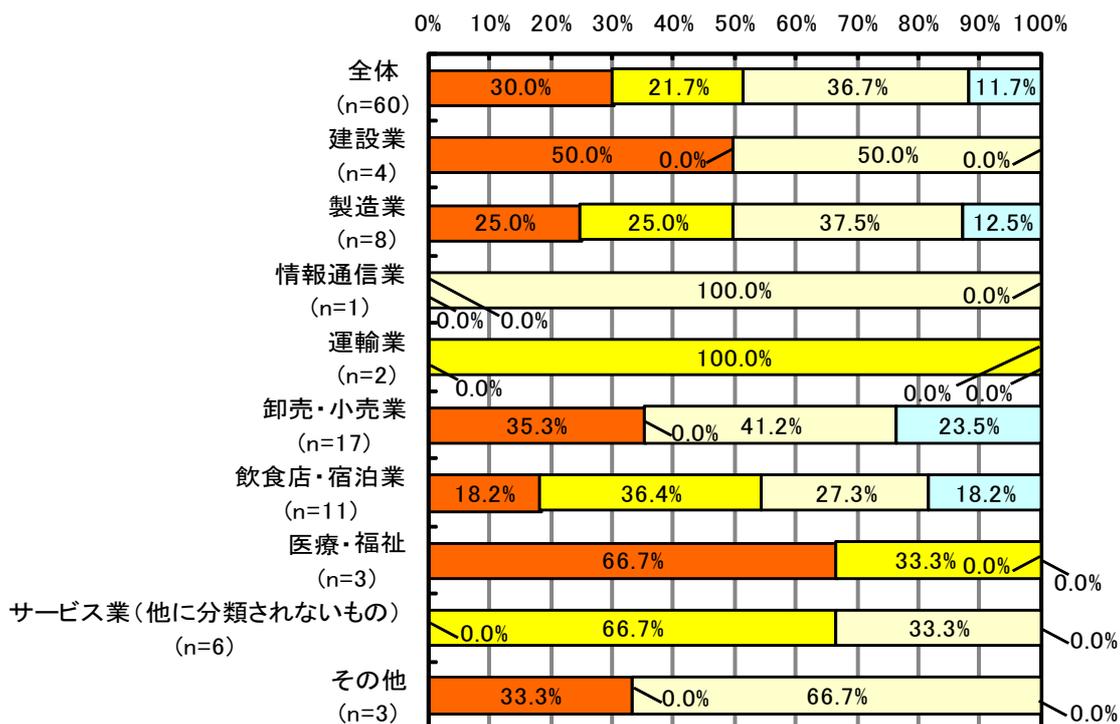
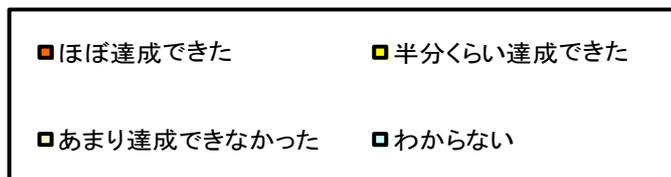


所在区別でみると、北区と江南区は節水目標を「ほぼ達成できた」事業所がなく、特に北区は「半分くらい達成できた」のみでも25%と、達成できた事業所の割合が低かった。

所在区別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると、

- 1) 江南区が100.0%
- 2) 西区が80.0%
- 3) 中央区が52.9%

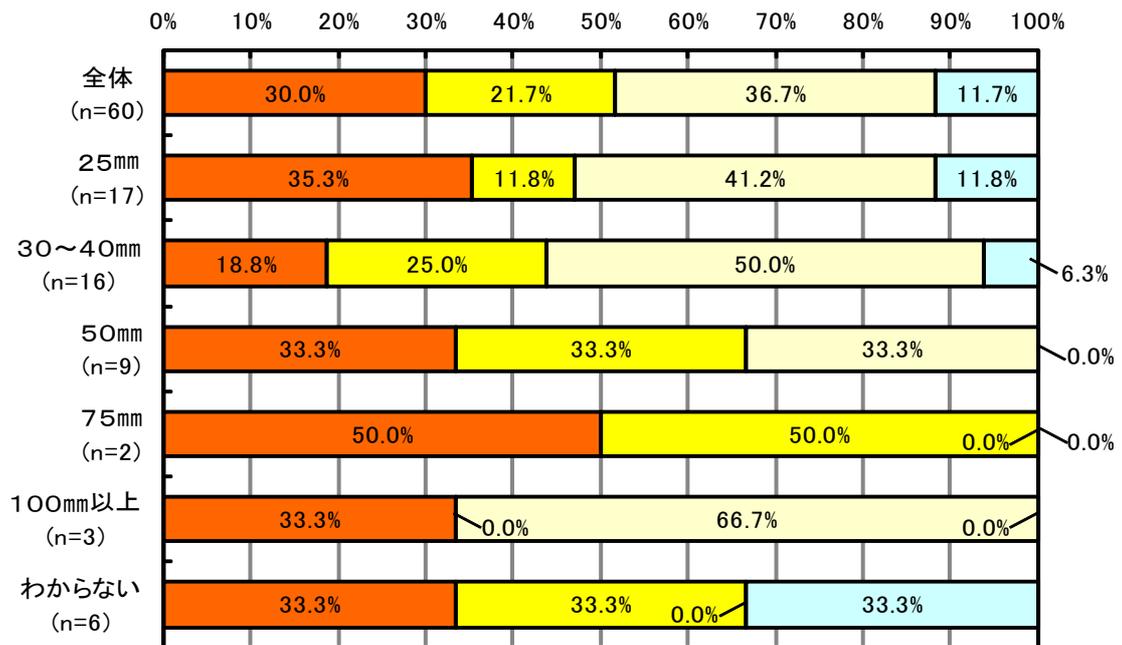
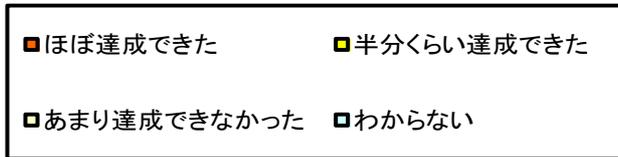
となっている。



業種別にみると、サービス業では「ほぼ達成できた」事業所がなく、逆に建設業、医療・福祉では「ほぼ達成できた」事業所の割合が50%以上だった。特に医療・福祉では「半分くらい達成できた」を含めると節水目標を半分以上達成できた事業所の割合が100%に達した。

業種別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると、

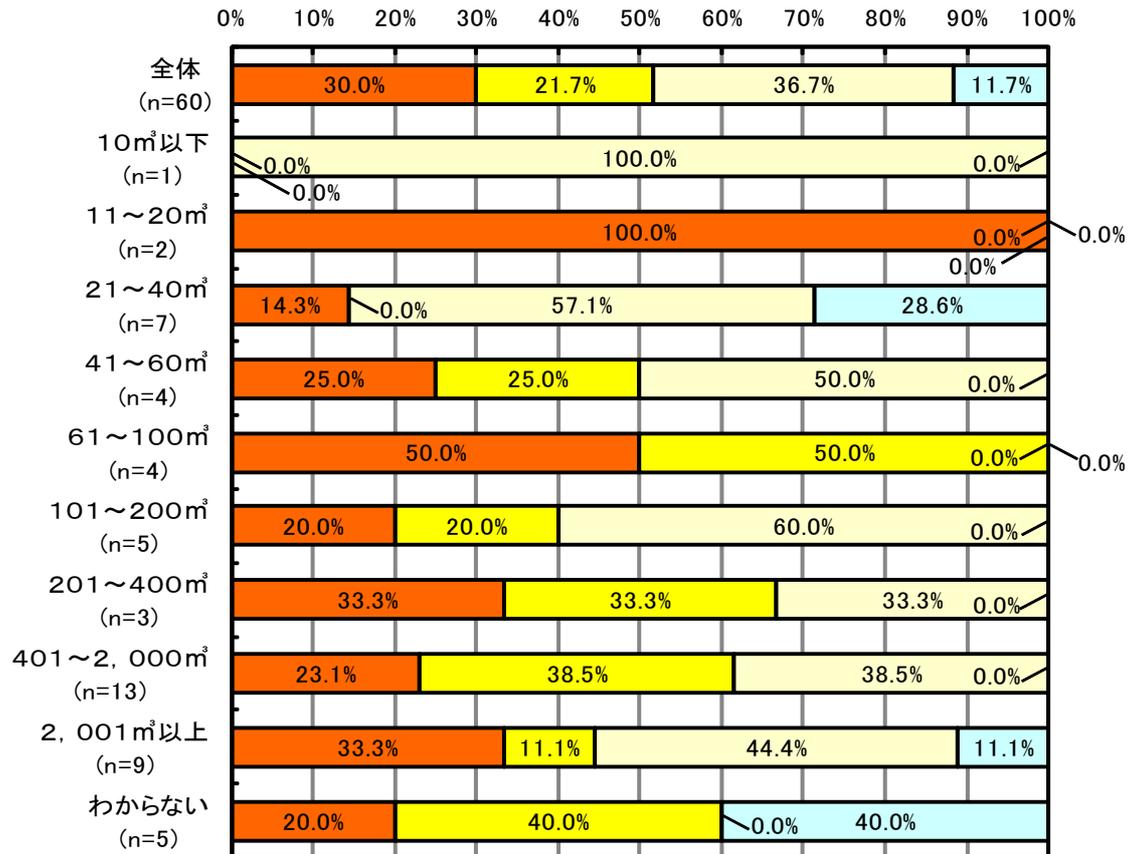
- 1) 医療・福祉が100.0%
- 2) 運輸業100.0%
- 3) サービス業(他に分類されないもの)が66.7%となっている。



水道メーター口径別でみると、回答数の少ない75mm、100mm以上を除くと、各口径別で、節水目標を達成できた事業所の割合に大きな違いは見られないが、「30~40mm」で『ほぼ達成できた』割合が18.8%と低かった。

水道メーター口径別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると、

- 1) 75mmが100.0%
  - 2) 50mmが66.6%
  - 3) わからない が66.6%
- となっている。



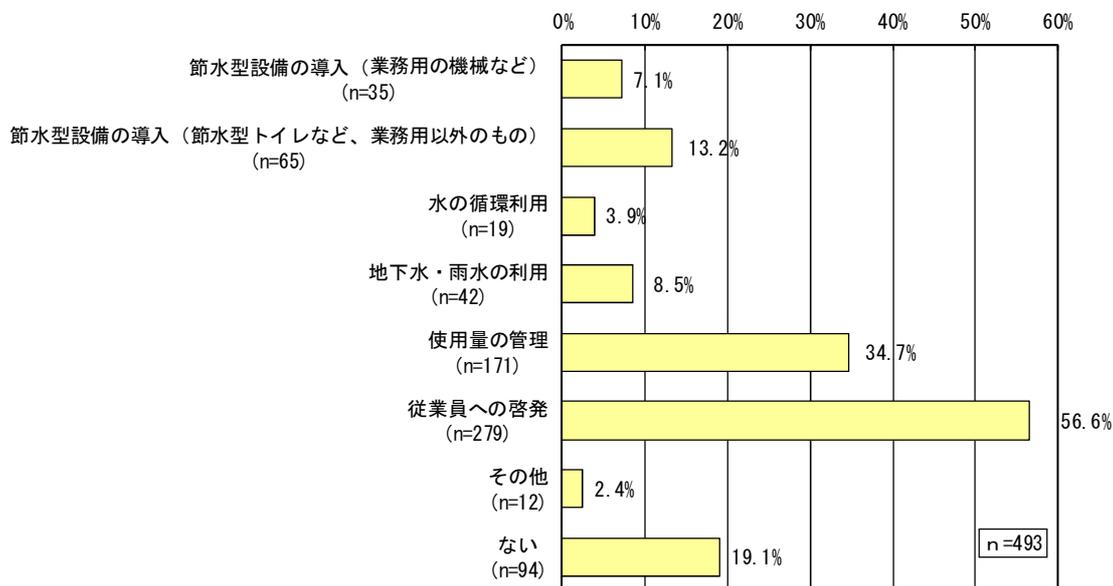
直近の水道使用水量別でみると、回答数の少ない「10m<sup>3</sup>以下」と「11~20m<sup>3</sup>」を除くと、「21~40m<sup>3</sup>」で『ほぼ達成できた』割合が14.3%と低く、『半分くらい達成できた』事業所もないため、他の使用水量と比べて達成割合が低い結果となった。

直近の水道使用水量別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると

- 1) 11~20m<sup>3</sup>が100.0%
- 2) 61~100m<sup>3</sup>が100.0%
- 3) 201~400m<sup>3</sup>が66.6%

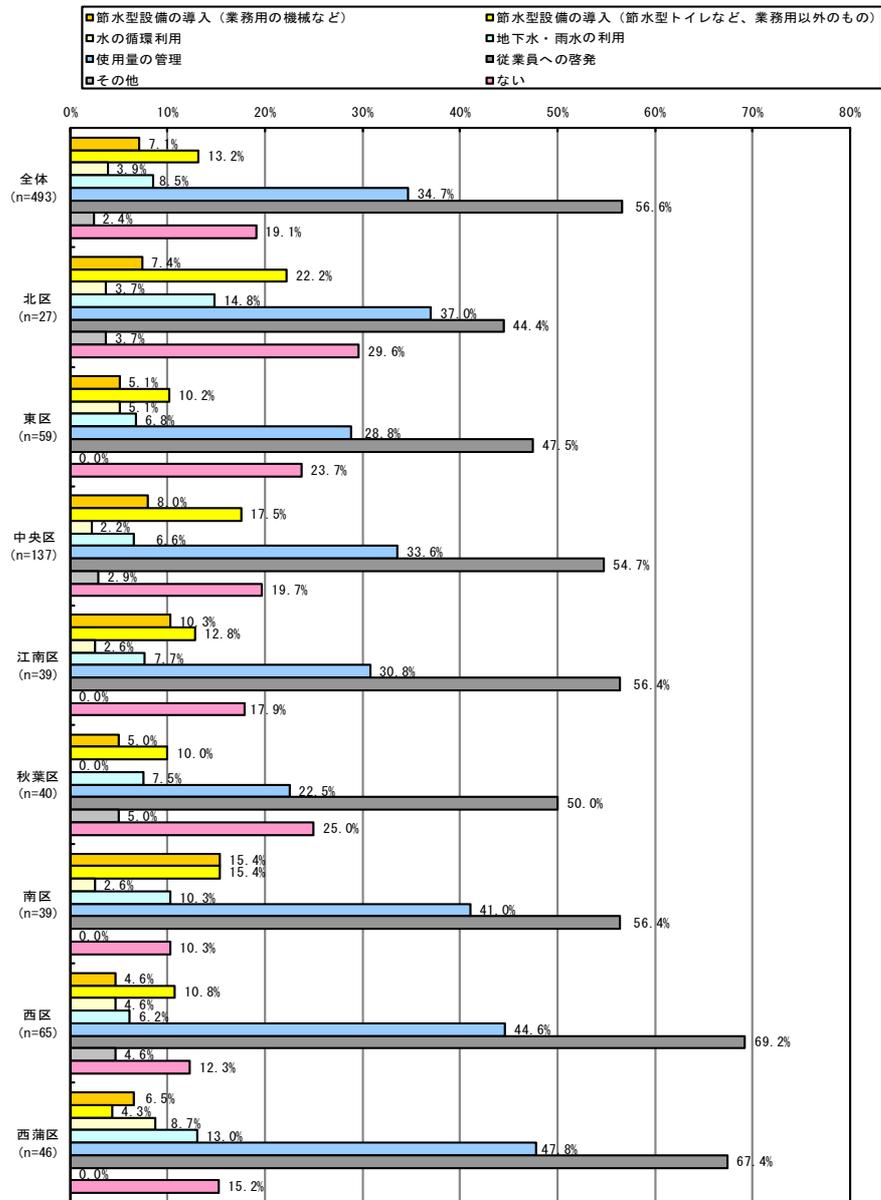
となっている。

問2 今後取り組みたい節水対策

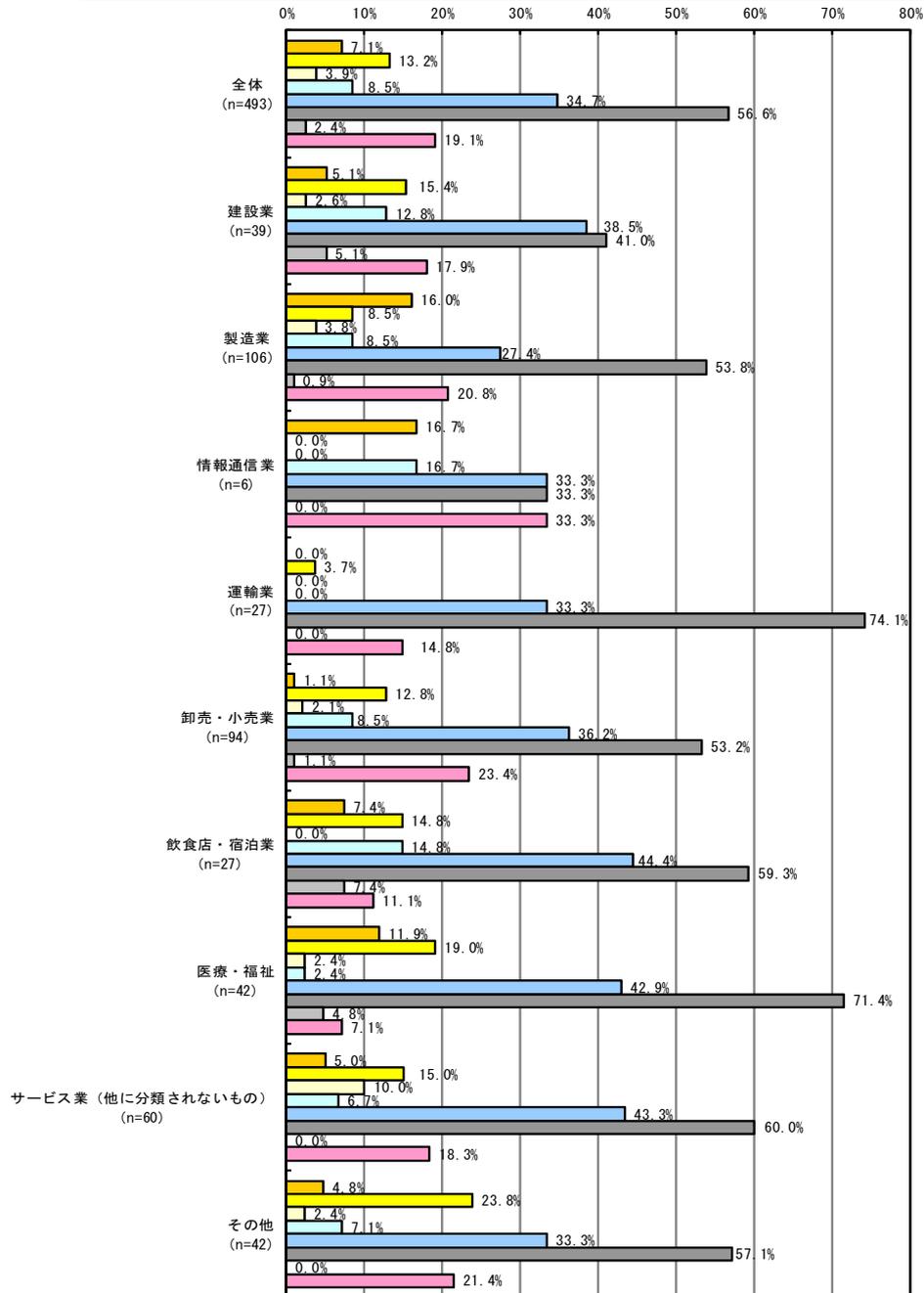


今後取り組みたい節水対策は、「従業員への啓発」が56.6%と最も多く、次いで「使用量の管理」が34.7%、「ない」が19.1%、「節水型設備の導入 (節水型トイレなど、業務用以外のもの)」が13.2%となっている。

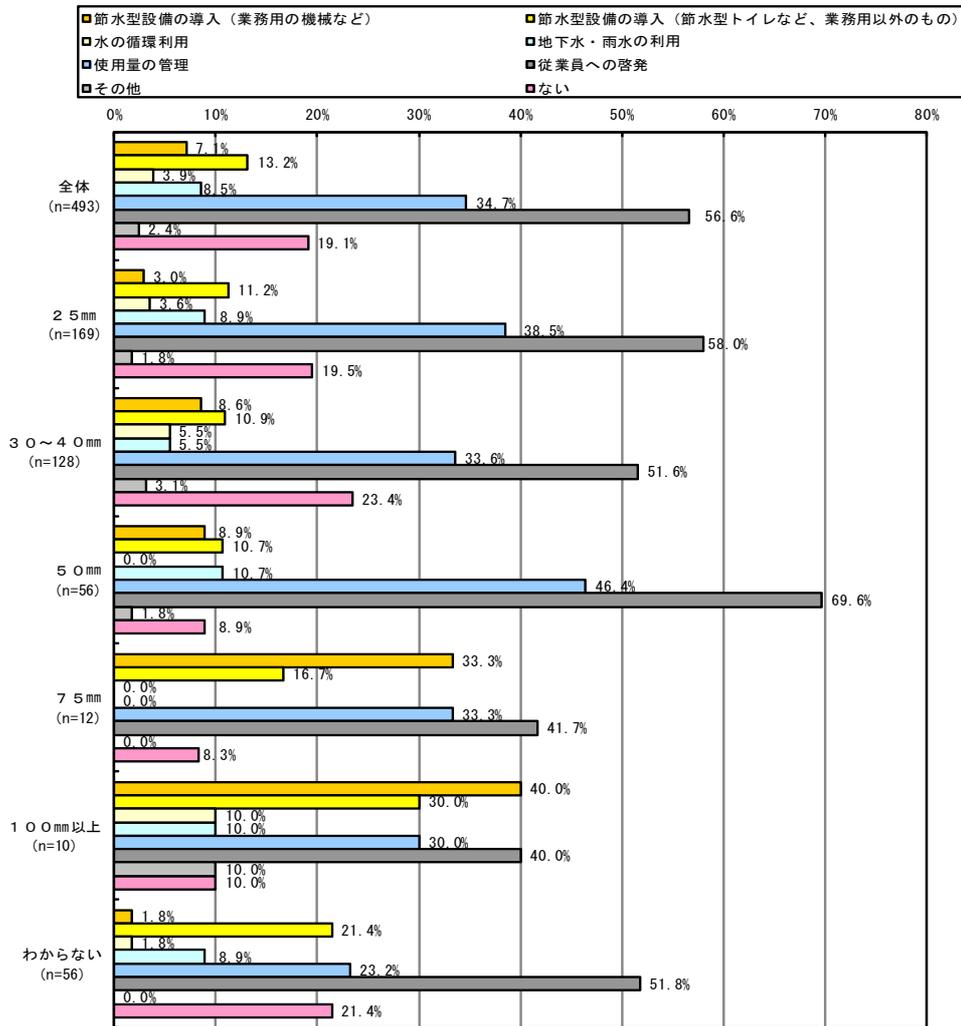
その他の回答
安価な設備なら導入してみたい
冬に利用できる地下水などチャレンジした事はあるが、探せなかった。災害時など、自分で保有・使用できる (雨水→飲用に) 設備の (安価) 開発に期待したい。
目標の設定
特に考えていない
方法がわからない。
水量調節部品の導入を検討中
本社しだい
水道栓を絞り水圧を弱くする
ボイラーの効率的
蛇口に節水コマの取付け



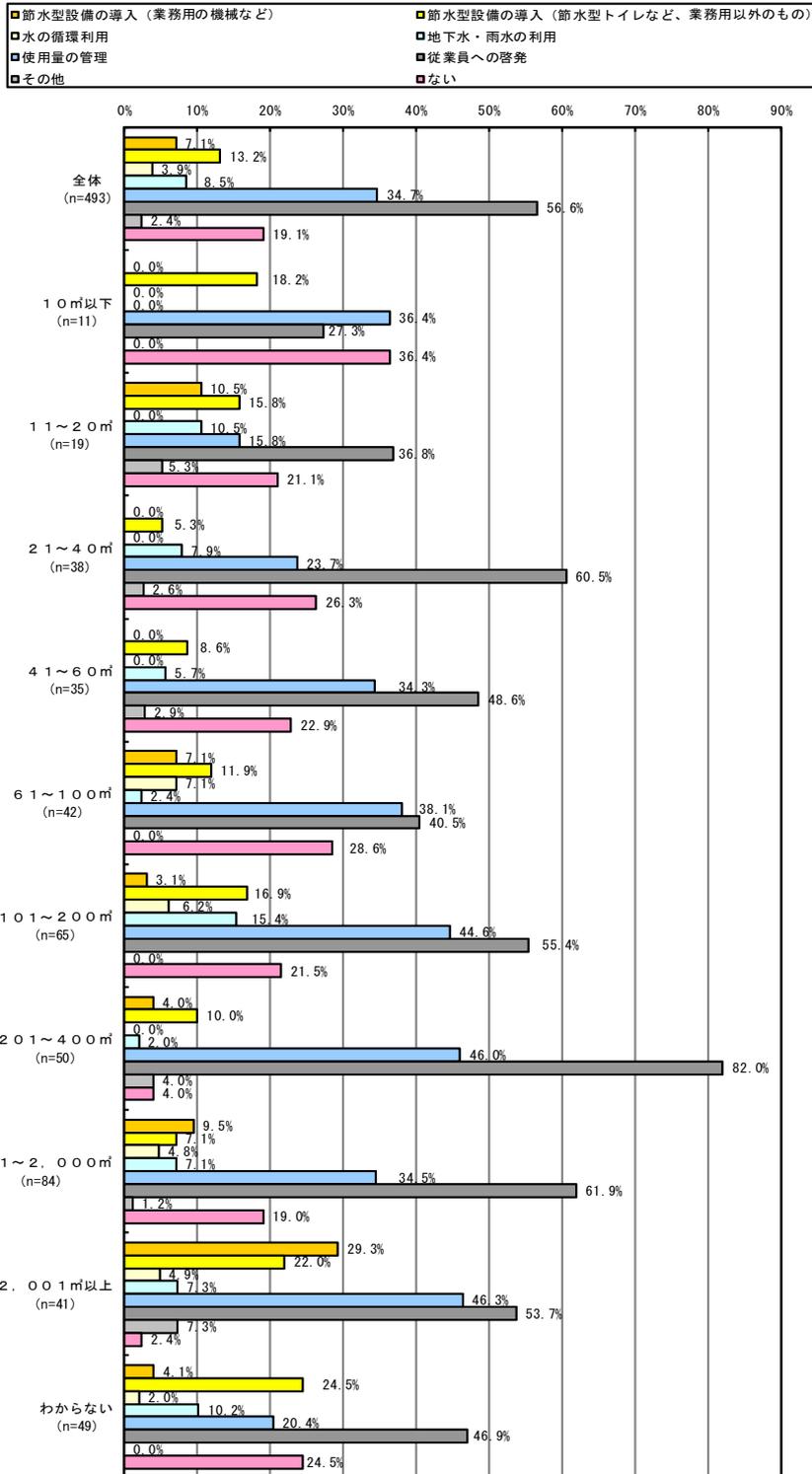
所在区別でみると、すべての区で「従業員の啓発」が40%を超えて第1位であるとともに、「使用量の管理」が次に続く傾向は、現在の取り組みの状況と変わらないが、「秋葉区」では今後取り組みたい節水対策は「ない」が「使用量の管理」を上回ったことが特徴的である。



業種別にみると、すべての業種で、今後取り組みたい節水対策は「従業員の啓発」が第1位で、続いて「使用量の管理」が高い傾向は変わらない。

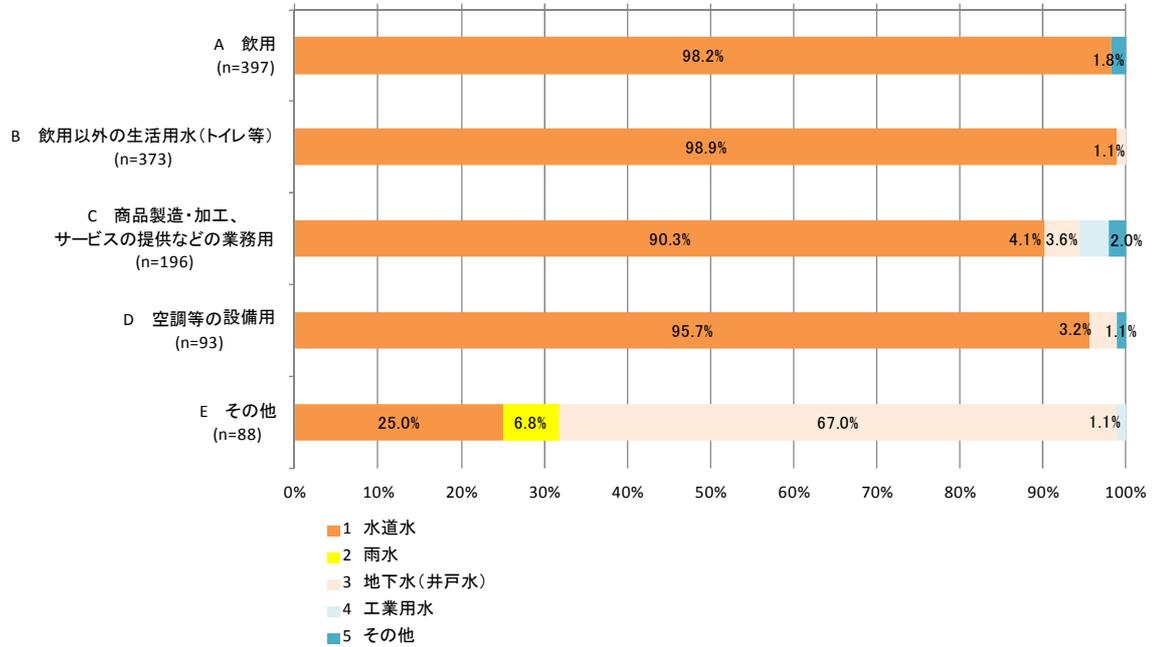


水道メーター口径別で見ると、水道メーター口径が大きくなるほど、今後取り組みたい節水対策として、「節水型設備の導入（業務用の機械など）」や「節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの）」の割合が増えていく傾向があることが分かった。



直近の水道使用水量別でみると、使用した水道水の量が多くなるほど、今後取り組みたい節水対策として、「節水型設備の導入（業務用の機械など）」や「節水型設備の導入（節水型トイレなど）」に力を入れていることが分かった。

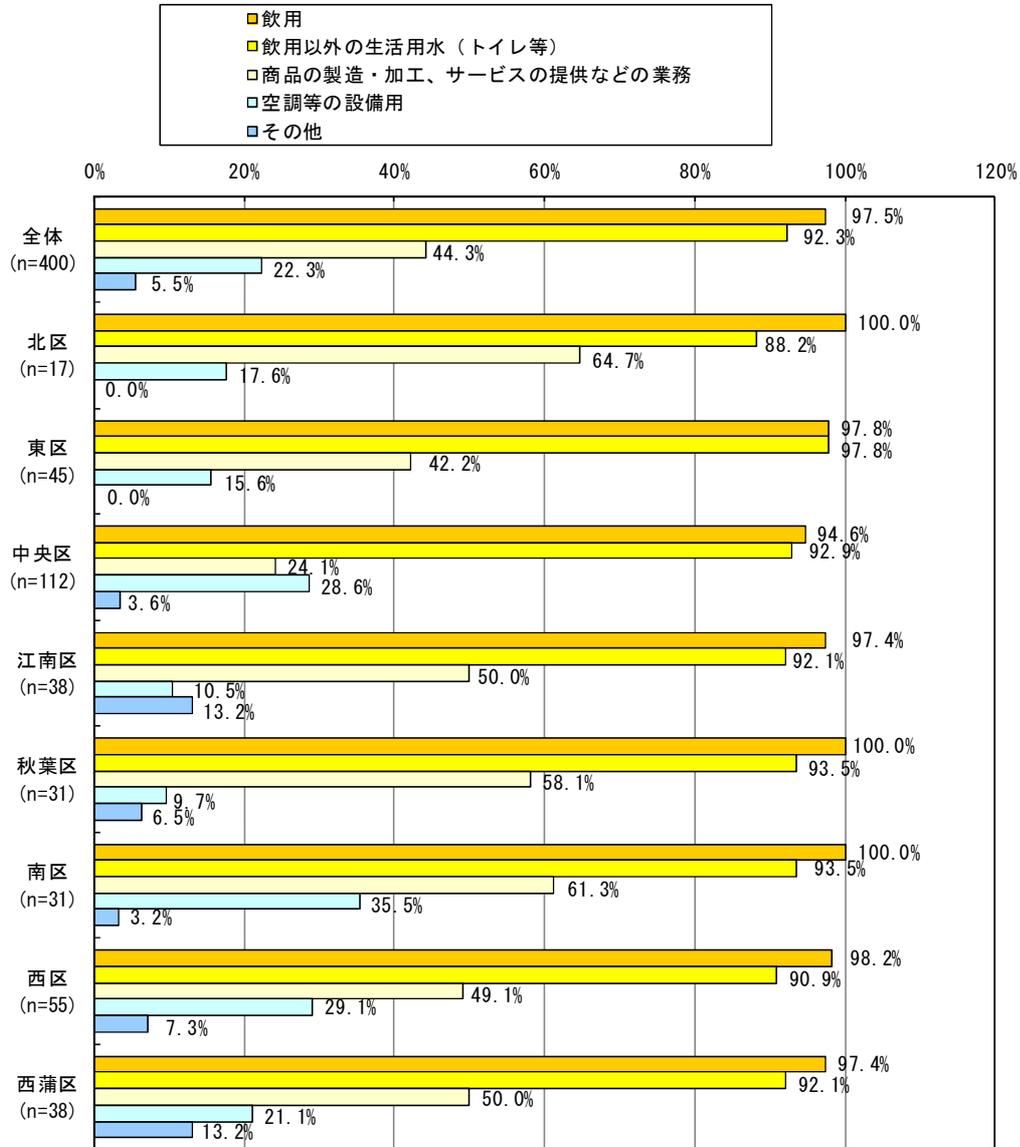
### 問3 利用している水、及びその用途



どの用途においても、水道水の利用率が高いが「その他」において地下水（井戸水）が67.0%と高い数値を示している。

その他の回答			
用途 (E. その他)		利用している水の種類 (5. その他)	
消雪・融雪	18	ウォーターサーバー	2
洗車	4	循環利用	2
農業	2	宅配飲料水	2
散水	2	ウォーターネット	1
デイサービス事業の浴室に使用	1	洗浄水をろ過し、再利用	1
製版工程の洗浄	1	上澄水	1
川の流れ	1	ミネラルウォーター	1
		蒸気ドレン回収水	1

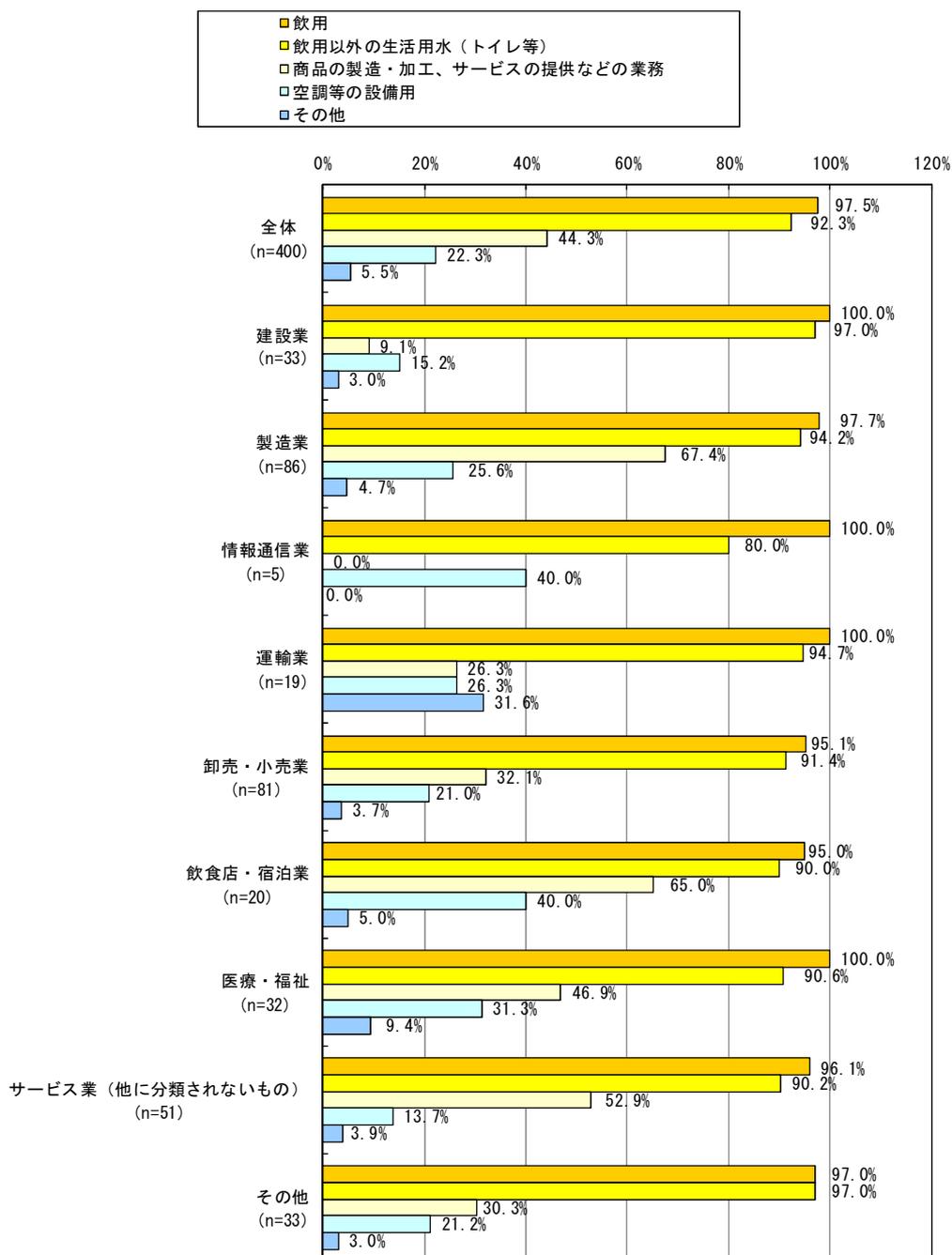
## 水道水の利用



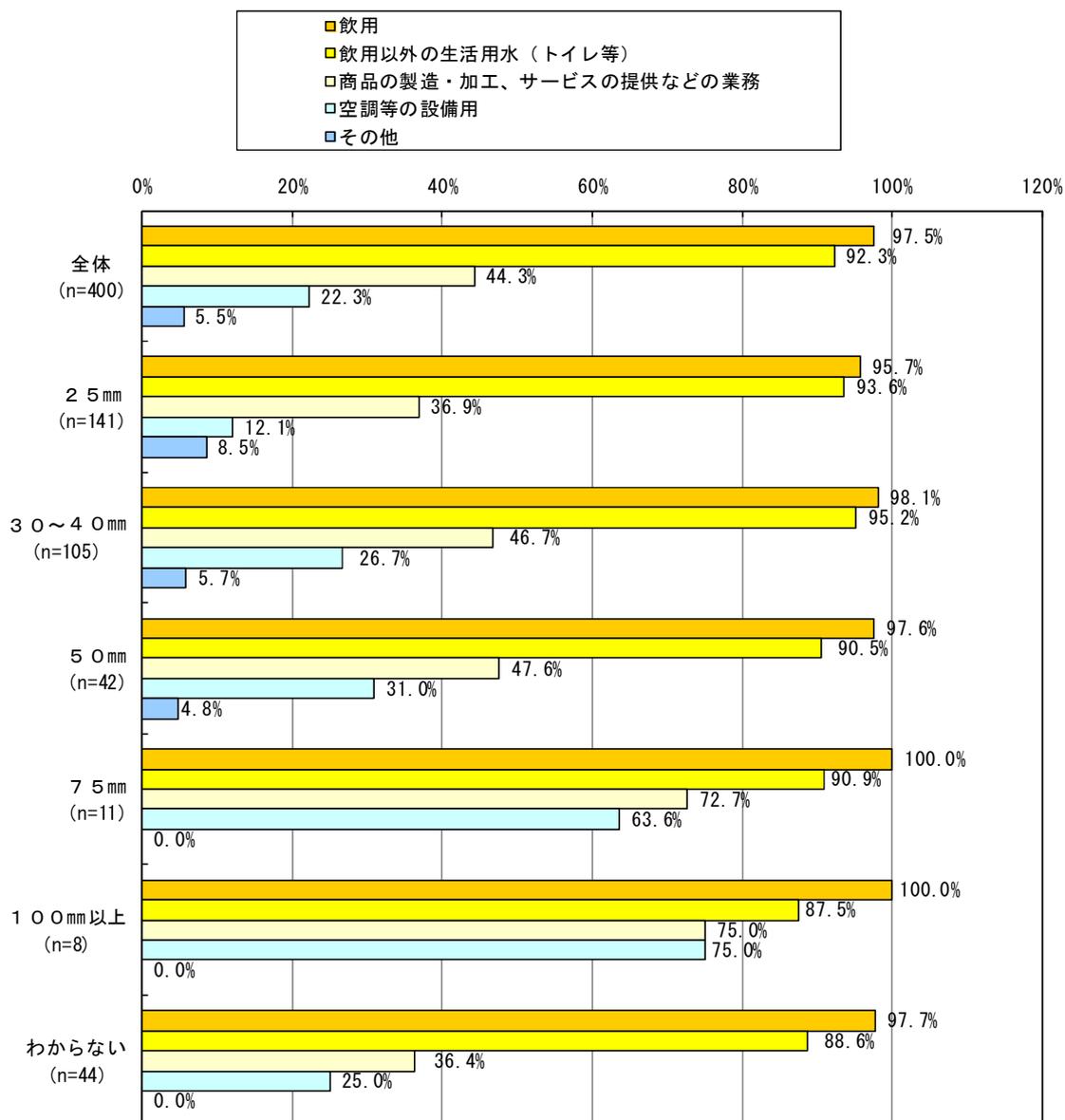
水道水の用途については全体を通して「飲用」が最も多く、次いで「飲用以外の生活用水（トイレ等）」の利用が多かった。

「空調等の設備用」が35.5%と他の区より多い南区では、「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」の利用率も61.3%と高く、総じて他の区と比べ、水道水の利用率が高いことが分かる。

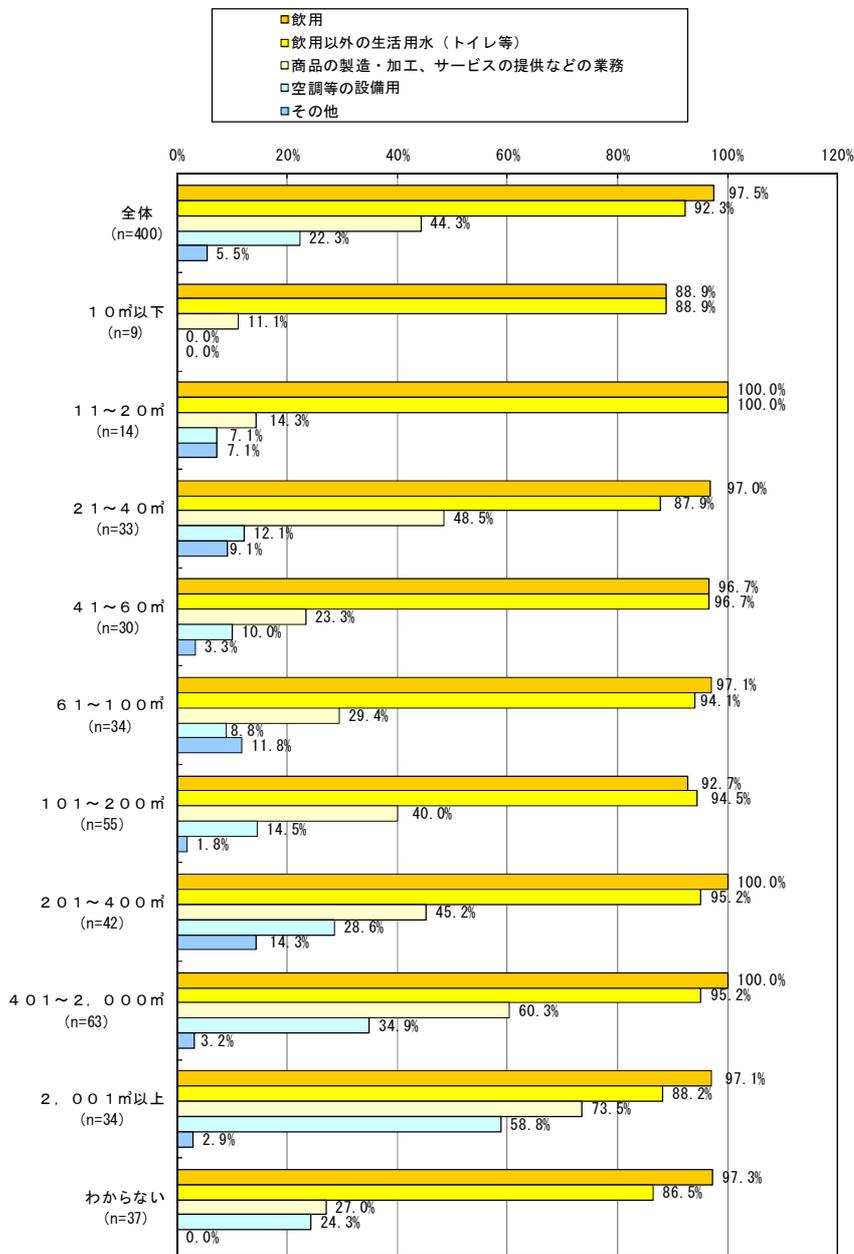
全体の用途として最も多かった「飲用」だが、中央区では94.6%と少ない傾向にあり、飲用に水道水以外も利用していることを示している。



水道水の用途を業種別にみると、「飲用」、「飲用以外の生活用水（トイレ等）」が多いのは他と同じだが、「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」の項目では製造業が67.4%、次いで飲食店・宿泊業が65.0%と利用が多い傾向であることが分かる。



水道水の用途を口径別にみると、75mm、100mm以上を利用している事業所では「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」、「空調等の設備用」が70%を超えるなど他口径より利用率が高く、さらに「飲用」には水道水を100%利用するなど、水道水の利用率の高さが目立った。



水道水の用途を使用水量別にみると、使用量の最も多い2,001m³以上利用している事業所で「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」が73.5%、「空調等の設備用」が58.8%と他に比べ高い利用率を示していることが分かる。逆に使用量の少ない10m³以下の事業所では、用途のほとんどを「飲用」「飲用以外の生活用水（トイレ用）」が占めていることが分かる。